

事業所における児童発達支援自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 2月 13日

事業所名：キッズセンターくしろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動場所は広くはないですが、活動を行うことのできるスペースを確保しています。	お子さんの様子を見ながら、必要に応じて活動をしやすいように調整していきたいと思います。
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		お子さんの活動を行う場所では、活動の場所を目的ごとに分けて設定をしています。その場所に行けば何をしたらよいのかわかるようにしています。	今後もお子さんがわかるように、活動場所を分けて配置していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		皆さんのご意見を基に、職員間で検討をしながら業務を行うようにしています。	今年のアンケート結果をもとに職員間で検討していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在、第三者による外部評価は実施していません。	法人全体で検討しています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	標準化された検査は実施していませんが、事業所で作成をしているアセスメントツールを使い、利用をしていただく前にアセスメントを実施しています。日々の支援の中では、行動観察を中心に、行動分析の視点とTEACCHアプローチの視点（学習スタイルの違い）から分析や整理をしています。	今後も継続してアセスメントや行動観察等を行い、分析や整理をして支援に役立てていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の打ち合わせで実施をしています。	情報伝達や共有の内容について、漏れがないよう確認していきたいと思います。
	⑱	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々の業務の中で、気づいたことについて職員間で情報共有を行っています。	同上
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	母子保健等とは直接連携をする機会はありませんが、釧路市の相談支援とお子さんのことについて情報交換を行うことがあります。	保護者の方のご希望も踏まえて、お子さんが利用している機関（こども園、幼稚園、保育園等）と情報交換ができる機会を設けていきたいと思います。
	㉓	（医療定期ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔	（医療定期ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	特別支援学校とは移行の時に引継ぎを行う機会を設けています。普通学校とは、保護者の方のご希望があったときに実施をしています。	保護者の方や移行先の学校からの希望に応じて実施をしていきたいと思います。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	現在のところ、直接助言等を受ける機会はありません。	専門機関等が実施をする研修会に参加をする機会を設けたいと思います。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のないこどもと活動する機会がある		○	当事業所の運営上、左記のような機会は設けていません。	保育園・認定こども園と併用して利用をされているお子さんが多いため、今後も予定をしていません。
	㉘	（地域自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え会い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ご利用いただいている保護者の方を対象とした保護者学習会を実施していました。	保護者の方のご希望に応じて、個別に応じていきたいと思います。
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母の会は設けていませんが、保護者学習会の機会を設けているので、その機会を保護者の方の交流の機会としています。	保護者会を設ける予定は現在はありませんが、保護者学習会の機会を、お互いに顔を合わせる機会としていただけたらと考えています。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、おたよりを発行して保護者の方へお渡ししています。	今後も継続していきます。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	㊳	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	当事業所の運営上、左記のような機会は設けていません。	今後、必要に応じて検討していきたいと思います。
非常時等の対応	㊵	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	㊷	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約（ご利用）の前に、保護者の方から聞き取りを行っています。情報シートにも記入をしていただいています。	契約時に確認させていただいた情報を職員間で確認できるよう徹底したいと思います。
	㊸	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	㊹	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	㊺	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	㊻	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。